

令和5年度（2023年度）採用 日本学術振興会 特別研究員 申請・書き方ガイドンス

2022年4月

立命館大学大学院課

Agenda

第1部

日本学術振興会特別研究員制度の趣旨・概要

1. 特別研究員制度とは何か
2. なぜ多くの人々が挑戦するのか
3. 難易度はどのくらいか
4. どのように申請するのか（申請書作成の留意点）

第2部

特別研究員申請書 書き方講座

特別研究員申請書作成に絶対押さえておくべきポイントを解説。
講師：安田 裕子先生（総合心理学部教授）

特別研究員採択者による体験談

申請書の書き方や採択されるためにすべきこと

1. 特別研究員制度とは何か？

3

1. 特別研究員制度とは何か？

通称：学振（ガクシン）

学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者を育成するため、優れた若手研究者に、その研究生活の初期において、自由な発想のもとに主体的に研究課題・研究の場を選びながら研究に専念する機会を与えるとともに、研究奨励金を支給する制度

1. 特別研究員制度とは何か？

学振には、4つの区分があります。

区分	対象	採用者全体 (令和4年度)	新規採用数 (予定)※
DC 1	大学院博士課程在学者	4196名	約700名
DC2			約1100名
PD	博士の学位取得者	1000名	約305名
RPD	博士の学位取得者のうち 出産・育児による研究中断者の復帰支援	214名	約75名

出典：日本学術振興会主催「令和5年度採用分特別研究員及び海外特別研究員募集等に関する説明会（申請機関事務担当者向け）」資料

※採用人数は、予算の状況により変更されます。

毎年1万人以上の大学院生・博士号取得者が申請しています。



2. なぜ多くの人が挑戦するのか？

2. なぜ多くの人々が挑戦するのか？

経済的な支援を受けることができる

将来のキャリア獲得の近道になる

7

2. なぜ多くの人々が挑戦するのか？

経済支援(研究奨励金) が受けられる*

	月額	年額換算	受給期間
D C	20万円	240万円	DC1:3年間 DC2:2年間
P D	36.2万円	434.4万円	3年間
R P D	36.2万円	434.4万円	3年間

*予算の状況により変更される可能性あり

上記に加えて・・・

- 科学研究費補助金（特別研究員奨励費）が使える
毎年度150万円以内※別途申請が必要
- (RPD) 出産・養育に伴う支援が受けられる
(採用の中断・延長・研究再開準備支援)

さらに・・・

(D Cのみ) 採用期間中は、授業料相当額の奨学金(研究奨励S奨学金)を大学から給付されます。※休学中除く

研究への専念/院生時代から研究マネジメントの経験ができる

8

2. なぜ多くの人が挑戦するのか？

将来のキャリア獲得の近道(特別研究員の就職状況)

出典：日本学術振興会主催「令和5年度採用分特別研究員及び海外特別研究員募集等に関する説明会（申請機関事務担当者向け）」資料

DCの「常勤の研究職」への就職状況

直後(令和元年度終了者) * 常勤職の研究職・ポスドクフェロー	64.5%
1年経過後(平成30年度終了者) * 常勤職の研究職・ポスドクフェロー	76.3%
5年経過後(平成26年度終了者) * 常勤職のみ	72.2%
10年経過後(平成21年度終了者) * 常勤職のみ	87.7%

PDの「常勤の研究職」への就職状況

直後(令和元年度終了者)	66.9%
1年経過後(平成30年度終了者)	75.7%
5年経過後(平成26年度終了者)	86.3%
10年経過後(平成21年度終了者)	93.8%

国からお墨付きを受けた研究者となる

9

2. なぜ多くの人が挑戦するのか？

注意点：遵守事項による制約も生まれます

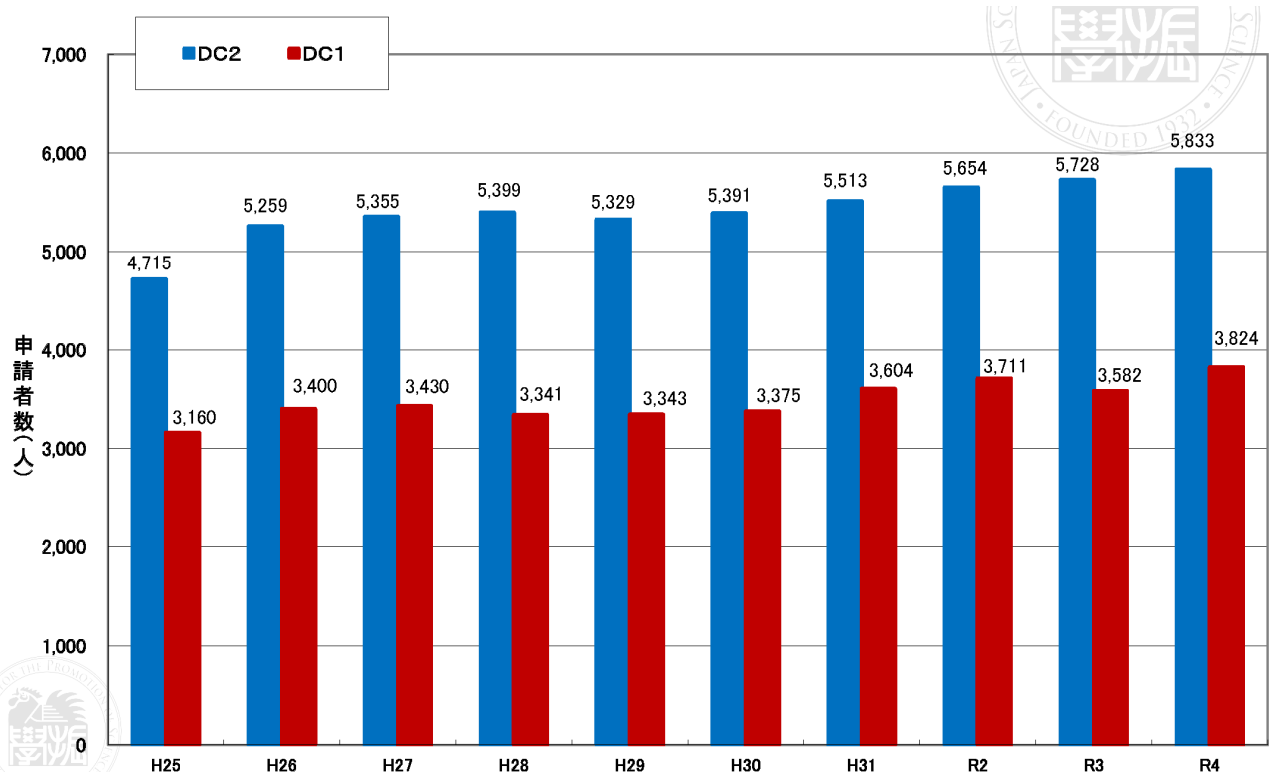
- ①特別研究員以外の身分を持つことができない
(一部例外あり)
- ②原則、他のフェローシップを受けることができない
(条件を満たせば、受給できるものもある)
- ③特別研究員と日本学術振興会との間に雇用関係がない。
(社会保障や年金など各自で対応が必要)
- ④諸手続きが煩雑（何をするにも届出が必要）
資格確認、海外渡航、研究報告など

3. 難易度はどのくらいか？

11

3. 難易度はどのくらいか？

1) 全国の申請者数の推移

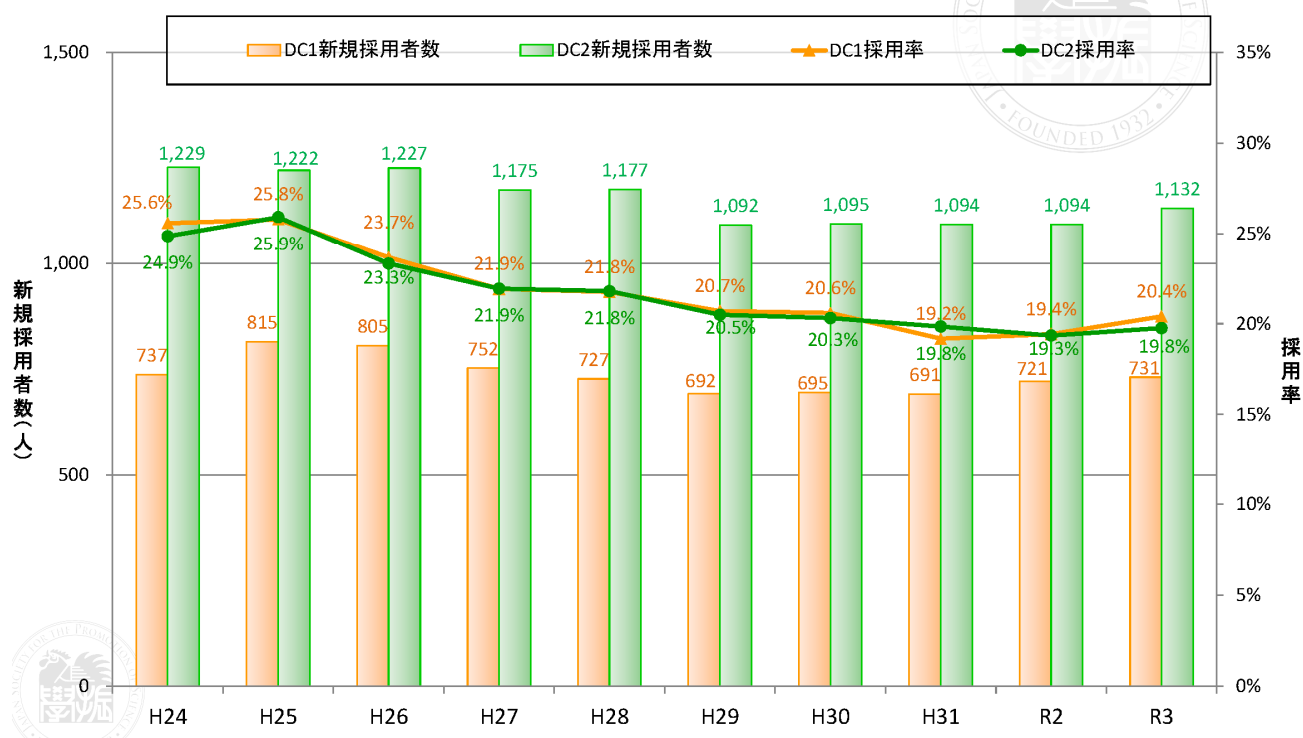


出典：日本学術振興会主催「令和5年度採用分特別研究員及び海外特別研究員募集等に関する説明会（申請機関事務担当者向け）」資料

12

3. 難易度はどの程度か？

2) 特別研究員のDC新規採用者数と採用率の推移

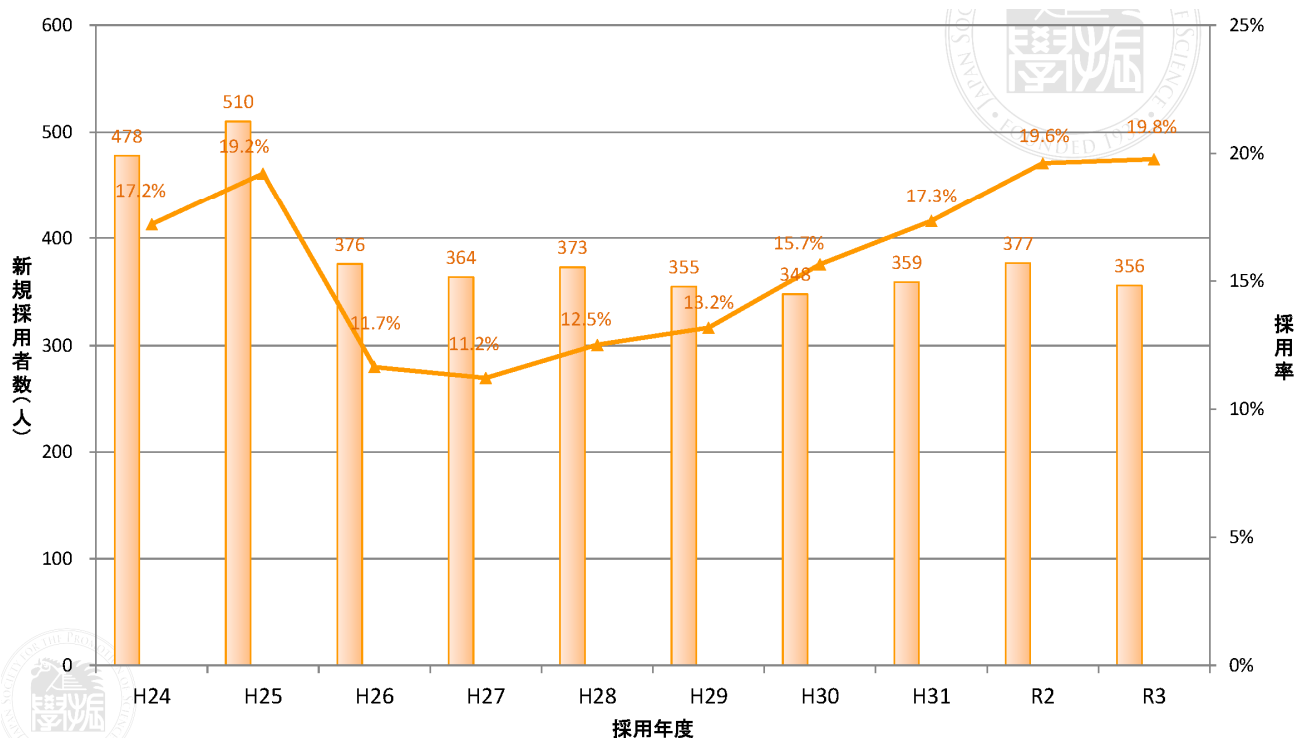


出典：日本学術振興会主催「令和5年度採用分特別研究員及び海外特別研究員募集等に関する説明会（申請機関事務担当者向け）」資料

13

3. 難易度はどの程度か？

3) 特別研究員の新規採用者数と採用率の推移



※令和2年度までのPD採用者にはSPD採用者を含む

出典：日本学術振興会主催「令和5年度採用分特別研究員及び海外特別研究員募集等に関する説明会（申請機関事務担当者向け）」資料

Page 16

14

3. 難易度はどの程度か？

4) 令和3年度新規採用分 審査区分別の申請者数と採用者数

区分	PD		DC2		DC1		計	
	申請数	採用数	申請数	採用数	申請数	採用数	申請数	採用数
人文学	352 (141)	71 (25)	567 (260)	112 (47)	335 (136)	66 (18)	1,254 (537)	249 (90)
社会科学	260 (95)	51 (24)	588 (292)	117 (52)	348 (126)	69 (24)	1,196 (513)	237 (100)
数物系科学	361 (36)	68 (2)	758 (75)	150 (13)	568 (58)	117 (12)	1,687 (169)	335 (27)
化学	65 (6)	13 (1)	546 (94)	106 (18)	350 (52)	73 (13)	961 (152)	192 (32)
工学系科学	141 (22)	26 (3)	1,110 (182)	218 (31)	610 (78)	125 (17)	1,861 (282)	369 (51)
情報学	35 (10)	5 (2)	416 (65)	83 (9)	267 (32)	54 (4)	718 (107)	142 (15)
生物系科学	197 (45)	39 (6)	460 (136)	92 (29)	351 (118)	73 (20)	1,008 (299)	204 (55)
農学・環境学	193 (65)	38 (8)	498 (152)	98 (31)	326 (114)	67 (24)	1,017 (331)	203 (63)
医歯薬学	196 (68)	45 (11)	785 (268)	156 (45)	427 (132)	87 (28)	1,408 (468)	288 (84)
計	1,800 (488)	356 (82)	5,728 (1,524)	1,132 (275)	3,582 (846)	731 (160)	11,110 (2,858)	2,219 (517)

・令和3年度の採用率は、PD: 19.8%、DC2: 19.8%、DC1: 20.4%、全体で20.0%

・()内は女性の数で内数

Page 18

出典：日本学術振興会主催「令和5年度採用分特別研究員及び海外特別研究員募集等に関する説明会（申請機関事務担当者向け）」資料

15



4. どのように申請するのか？

4. どのように申請するのか？

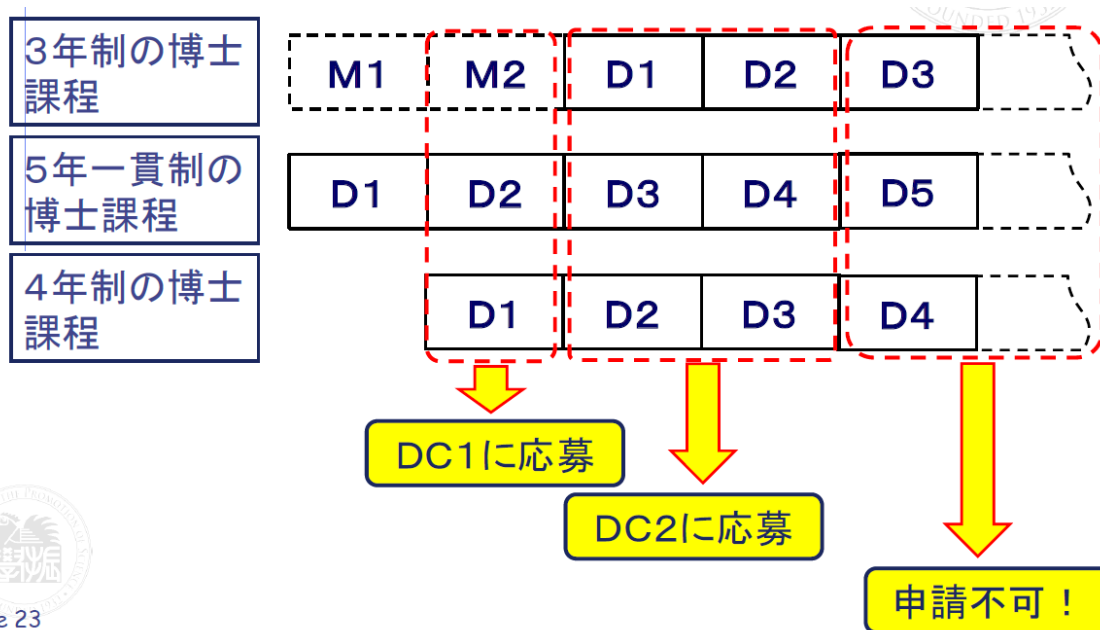
1) 申請資格を確認する 2023.04.01現在に以下の資格を有していること

【DC1】	・博士課程後期課程 1回生 ・一貫制博士課程 3回生 ・4年制博士課程 2回生	留学生も申請可能 ただし、英訳資料はないため 日本語能力がサポートが必要
【DC2】	・博士課程後期課程 2-3回生 ・一貫制博士課程 4-5回生 ・4年制博士課程 3-4回生	
【PD】 右の①～③を 全て満たす者	①博士の学位を取得後5年未満 (申請時においては見込みでも可) ②受入研究機関の選定 博士課程在学時の所属研究機関とは別の研究機関であることが必要 ③国籍 日本国籍、または日本に永住を許可されている外国人	
【RPD】 右の①～③を 全て満たす者	①博士の学位を取得(見込)している者 ②次のいずれかに該当する者 1. 申請年度4月1日時点で未就学児を養育しており、その子の出産・育児のため、 2015年10月1日から2022年3月31日の間に3ヶ月以上研究活動を中断した者 2. 出産又は疾病や傷害のある子を養育したため、2017年4月1日から2022年3月 31日の間に3ヶ月以上研究活動を中断した者 ③日本国籍、または日本に永住を許可されている外国人 ※令和4年度採用特別研究員PDとの併願可能。重複採択された場合は、いずれかを辞退。 ※博士課程在学時の所属研究機関とは別の研究機関を選定することを推奨。	

17

4. どのように申請するのか？

DCの申請時の在学年次と応募資格(イメージ)



4. どのように申請するのか？

手順①申請機関に電子申請に必要なIDの発行を依頼する

【申請機関とは】

- ・PD・RPD・DC2⇒受入予定の機関（大学）
本学以外に進学する方は、受入先に依頼してください
- ・DC1申請者の場合⇒**現在在学する（又は出身の）大学**

H27年度以降に立命館大学でIDを発行している場合は、その時発行したIDを使用して下さい。

【ID発行】

申請機関にて発行するIDが必要

⇒「令和5年度採用日本学術振興会特別研究員電子申請ID発行依頼書」の手続きが必要

http://www.ritsumeai.ac.jp/ru_gr/g-career/fellow/doctor/article.html/?id=39

注1：氏名は戸籍名にて申請。外国人の場合は「在留カード」に記載の氏名



- ①申請は、申請機関で集約してまとめて申請します。
※個人から直接、日本学術振興会に提出ではありません。
- ②必要書類はすべて電子申請で手続きします。
※紙媒体は廃止になりました。

19

4. どのように申請するのか？

手順②電子申請システムにログインして、申請書類を作る

【電子申請システム】

以下のページからログインのうえ申請を行う。

<https://www-yousei.jsps.go.jp/yousei1/shinsei/index.html>

申請機関から発行されたIDとパスワードでログイン

【操作方法がわからない時】申請者向け操作手引きを参照

<http://www-shinsei.jsps.go.jp/topyousei/download-yo.html#a2>

4. どのように申請するのか？

手順②電子申請システムにログインして、申請書類を作る

種類	名称	内容・作成方法
a.	申請書情報 (A 4判2頁)	<u>学歴・研究課題等を記載したもの。</u> <u>→電子申請システムに直接入力。</u>
b.	申請内容ファイル (A 4判7-9頁)	研究計画・研究業績等を記載したもの。 <u>様式を日本学術振興会HPよりダウンロードして作成</u> <u>→WEB取込</u>
c.	評価書	⇒申請者より評価者へ、電子申請システムを通じて作成依頼 <u>DC：1名 PD：2名</u>

【評価書における注意点】

評価者が入力し終えないと申請ができません。申請者情報を入力していれば依頼できますので、申請内容ファイルを完成前に、評価をお願いする方には早めに依頼しましょう。

21

4. どのように申請するのか？

注意点①: 評価書作成(全員が必須)のスケジュール管理

①必要な評価者の数

DC：1名（現在の研究指導教員）

PD：2名（1名は受入研究者）

②【重要】評価者への評価書作成依頼について

- ・評価者が電子申請システム上で評価書を作成しなければ、申請者はシステム上、申請できません。
- ・電子申請システム上で申請者より評価者に依頼する必要があります。遅くとも、**4月22日までに依頼を行ってください**（評価者が記載する時間を確保するため）。

⇒その他、詳細については申請書作成要領を参照

申請者情報を入力して、先に評価者に作成を依頼しましょう。 22

4. どのように申請するのか？

注意点②: 学内の申請スケジュールに遅れないこと

時期	内容
4月15日（金）	電子申請 I D 発行申請〆切
	電子申請 I D、順次配布 配布方法：メール送付
4月18日（月）～ 5月10日（火） 23:59	【RPD】学内申請期間 ※締切厳守
5月13日（金）～ 5月29日（日） 23:59	【DC1/DC2/PD】学内申請期間

23

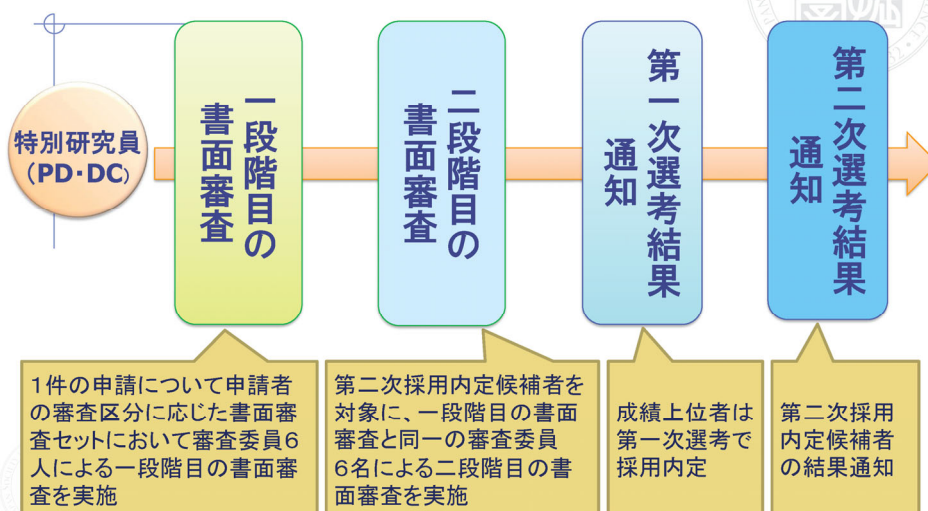
4. どのように申請するのか？

昨年度からの変更点【書式】

①二段階書面審査が正式な審査方法に確定

この間、コロナの関係で面接審査が中止となり、臨時で書面審査を行っていましたが、正式に2回の書面審査で審査方法が確定しました。

令和5年度（2023年度）採用分特別研究員-PD、DCの新たな審査の流れ



24

4. どのように申請するのか？

令和4年度採用分からの変更点【申請書式の項目と様式の見直し】

申請者の研究遂行力について、単に「研究業績」を列挙するのではなく、申請者の**研究遂行力を自ら分析し、研究に関する自身の強み等を記入する項目**（「研究遂行力の自己分析」欄）とすることで、申請者の**研究者としての資質や将来性により重点を置いて評価**できるような項目を改めました。

また、「研究計画」について、各項目を細分化して記入する方式から、まとめて記入できるようにする方式に改めました。

【令和3年度採用分までの申請書の各項目】

○申請書情報・申請内容ファイル

1. 申請者情報等
2. 現在までの研究状況
3. これからの研究計画
 - (1) 研究の背景
 - (2) 研究目的・内容
 - (3) 研究の特色・独創的な点
 - (4) 研究計画
 - (5) 人権の保護及び法令等の遵守への対応
4. 研究遂行能力
5. 研究を志望する動機、目指す研究者像、アピールポイント等（DCのみ）

○評価書

○特例措置希望理由書（PDのみ）

【令和4年度採用分以降の申請書の各項目】

○申請書情報・申請内容ファイル

1. 申請者情報等
2. 研究計画
 - (1) 研究の位置づけ
 - (2) 研究目的・内容等
3. 人権の保護及び法令等の遵守への対応
4. 研究遂行力の自己分析
 - (1) 研究に関する自身の強み
 - (2) 今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素
5. 目指す研究者像等

○評価書

○特例措置希望理由書（PDのみ）

出典：日本学術振興会主催「令和5年度採用分特別研究員及び海外特別研究員募集等に関する説明会（申請機関事務担当者向け）」資料

25

4. どのように申請するのか？

令和4年度採用分からの変更点【申請書式の項目と様式の見直し】

申請者に求められるもの（申請書作成にあたって特に留意いただきたい点）

【研究計画】欄

「研究の位置づけ」の記入にあたっては、自身の研究計画だけでなく、当該分野の状況や課題等の背景、当該研究計画の着想に至った経緯も含めて記入

【研究遂行力の自己分析】欄

- ・ 我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保という特別研究員制度の趣旨を踏まえ、自身を十分に分析して「研究に関する自身の強み」等を記入
- ・ その際、「研究業績」を記入する場合は、単なる成果物（論文等）の列挙のみとするのではなく、それらも踏まえた自身の強み等を記入

出典：日本学術振興会主催「令和5年度採用分特別研究員及び海外特別研究員募集等に関する説明会（申請機関事務担当者向け）」資料

4. どのように申請するのか？

注意点③：申請内容ファイル作成留意事項

【大原則】

- ・ 記載欄の縮小・拡大・追加厳禁

ダウンロードしたときの各記載欄の幅を維持

- ・ 様式各記載欄の前にある指示を厳守

様式には各欄に何を記載するか具体的な指示がある

斜体で示された説明文は削除するのを忘れない

- ・ (D C) 学内奨学金の採択状況も記載

「申請内容」の「研究遂行能力の自己分析」に記載して積極的にアピールする。

(例：研究奨励奨学金A（所属研究科の全在学者数数の5%に給付）)

27

4. どのように申請するのか？

注意点③：申請内容ファイル作成留意事項：

【研究遂行力の自己分析パート】

(例) 学術論文（査読の有無を明らかにしてください。
査読のある場合、採録決定済のものに限ります。）

著者、題名、掲載誌名、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年を記載してください。

(例) 研究発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。）

著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。）

- ・ 査読中・投稿中・発表予定のものは記載不可

4. どのように申請するのか？

注意点③: 申請内容ファイル作成留意事項: 提出前の総点検

1. 書体の統一：特に英数字
 - 明朝なら明朝で、CenturyならCenturyで統一すること。
 - 記載項目、あるいは段落で書体が違うことが多い。
2. 色を使うのならば、意味・カテゴリーを考えて
 - 色の使い分けの意図が、審査員に伝わるよう工夫をすること。
 - モノクロ（グレースケール）で印刷のうえ、審査される。
3. 「その」「それ」などの指示語は避け、示す内容を明記しましょう。
4. 文献の表記方法は、所属学会・学内の紀要、あるいは『社会学評論』（人文社系専攻）に則って書きましょう。
5. 共著論文・共同報告は、論文・学会大会要旨集に掲載された順番で記載しましょう。
6. 研究計画書は、先輩・同輩に一度は読んでもらい、アドバイスをもらいましょう。

29

4. どのように申請するのか？

注意点④: 書面審査の仕組みを理解したうえで、審査領域を選択する。 学振ホームページ→メニュー→審査→審査区分表

書面審査セットとは、書面審査を行うためのグループです。審査は、申請者の書面審査区分ごとに行いますが、適切な相対評価ができるように、関連する小区分を組み合わせてグループ化しています。

このように各書面審査区分(又は、小区分をグループ化したもの)に、6人の専門委員を割り当てたものを「書面審査セット」と呼んでいます。セット毎の専門委員については、専門分野のバランス、各審査員の所属機関が異なるようにすることなど、公平性に配慮しています。

		審査区分		PD
合議・面接		書面		書面審査 セット
生物系科学	71分子レベル から細胞レベ ルの生物学お よびその関連 分野	43010	分子生物学関連	生物系科学1
		43020	構造生物化学関連	
		43030	機能生物化学関連	
		43040	生物物理学関連	
		43050	ゲノム生物学関連	
		43060	システムゲノム科学関連	
	72細胞レベル から個体レベ ルの生物学お よびその関連 分野	44010	細胞生物学関連	生物系科学2
		44020	発生生物学関連	
		44030	植物分子および生理科学関連	
		44040	形態および構造関連	
		44050	動物生理化学、生理学および行動学関連	
	73個体レベル から集団レベ ルの生物学と 人類学および その関連分野	45010	遺伝学関連	生物系科学3
		45020	進化生物学関連	
		45030	多様性生物学および分類学関連	
		45040	生態学および環境学関連	
		45050	自然人類学関連	
		45060	応用人類学関連	
74神経科学お よびその関連 分野	46010	神経科学一般関連	生物系科学4	
	46020	神経形態学関連		
	46030	神経機能学関連		

〔例: PD 書面合議・面接審査区分が生物系科学の場合〕

例えば、小区分43010を選択した申請者は、小区分43020、43030、43040、43050、43060を選択した申請者と合わせた書面審査セットで審査されます。

審査に当たる専門委員の専門分野は、審査区分表を参照してください。

4. どのように申請するのか？

注意点④: 書面審査の仕組みを理解したうえで、審査領域を選択する。
学振ホームページ→メニュー→審査→審査区分表

審査区分を選択するにあたっては、申請者は、審査区分表（総表）を基に、審査区分の全体像を把握できます。さらに、審査区分の詳しい内容について、本一覧を確認の上、申請する審査区分を選択してください。

小区分の中には、複数の書面審査区分や書面合議・面接審査区分に表れているものがあります。複数の書面審査区分に対応している小区分は下表のとおり9つあり、このうち、複数の書面合議・面接審査区分に対応している小区分は8つあります。

また、小区分 90110～90150 の5つの小区分は、対応する書面審査区分は1つですが、それぞれ2つの書面合議・面接審査区分に対応しています。

【複数の書面審査区分、書面合議・面接審査区分に表れる小区分】

小区分	小区分の説明	対応する書面審査区分	対応する書面合議・面接審査区分
02090	日本語教育関連	12, 25	人文学, 社会科学
02100	外国語教育関連	12, 25	人文学, 社会科学
80010	地域研究関連	14, 22	人文学, 社会科学
80020	観光学関連	14, 23, 24	人文学, 社会科学
80030	ジェンダー関連	14, 22, 24	人文学, 社会科学
80040	量子ビーム科学関連	34, 35	数物系科学
90010	デザイン学関連	11, 53, 62	人文学, 工学系科学, 情報学
90020	図書館情報学および人文社会情報学関連	12, 61	人文学, 情報学
90030	認知科学関連	26, 62	社会科学, 情報学
90110	生体医工学関連	90	工学系科学, 医歯薬学
90120	生体材料学関連	90	工学系科学, 医歯薬学

31

4. どのように申請するのか？

注意点④: 書面審査の仕組みを理解したうえで、審査領域を選択する。

書面審査項目(DC, PD, RPD)

- ① 研究計画の着想およびオリジナリティ
- ② 研究者としての資質
- ③ 総合評価

6人の専門委員が個別に審査し、最終的には6人の総合評価の平均点により順位付けされる。

①、②の項目評価は5段階の絶対評価。

総合評価は①、②の項目評価をもとに総合的に判断

総合評価(評点)は相対評価。

評点「5」…10% 評点「4」…10% 評点「3」…10%

評点「2」…40% 評点「1」…30%

※RPDは、評点「5」…10% 評点「4」…10% 評点「3」…20%

評点「2」…30% 評点「1」…30%



4. どのように申請するのか？

注意点⑤: 人権の保護及び法令等の遵守への対応について

研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、**どのような対策と措置を講じるのかについても確認の対象となります**。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

申請書においては、上記のように法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか、また、対象となる研究について研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続の状況なども併せて具体的に記述してください。

なお、**該当しない場合には、その旨記述してください。**

33

最後に

1) 1年後のリベンジ合格ありえます。

本学の採択者の多くが、過去に1度不採用となった経験があります。第1次審査で不採用となった場合、不採用者の中に占める申請者の立ち位置がA・B・Cの3段階で示されます。この採点を参考に、1年後のリベンジに向けて研究計画の練り直しや研究業績を積み上げるなど準備を進めていきましょう。この努力の積み重ねが、1年後の採択に繋がります。

2) 若手研究者海外挑戦プログラムにも挑戦してみましょう。

3) 研究奨励奨学金とリサーチプロポーザルコンテストに出願しましょう。

申請書が特別研究員と同じ項目になっています。ぜひ合わせて出願してください。

* 申請時に博士課程後期課程（一貫制（3年次以上）、4年制含む）の方。

詳細は各募集要項をご確認ください。

問い合わせ先

大学院課（衣笠）
至徳館4階 Tel: 075-465-8195
担当：山田(篤)・森山・津田

Email: grad-sch@st.ritsumei.ac.jp
URL: http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/

<学振特設ページ>

http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/fellow/doctor/article.html/?id=39

<過去の採用者の申請書を閲覧できます（4/5～5/31）>

複製・写真・持ち帰り禁止

衣笠キャンパス：大学院課（衣笠）

BKCキャンパス：学びステーション

OICキャンパス：学びステーション



電子申請における採用後の受入研究者および所属研究科等の名称について

電子申請の際に、「採用後の受入研究者」や「採用後の申請者所属研究科正式名/DC」、「申請者受入部局正式名PD/RPD」を記入頂く必要がありますが、部局の正式名称については下記一覧表を参照のうえ、正しくご記入ください。受入研究者によって学部所属・研究科所属が異なりますので、不明な点は受入研究者にご確認ください。

[DC]

※所属機関は立命館大学(34315)

採用後の受入研究者所属		
採用後の受入研究者所属	学部所属 部局(コード)	研究科所属 部局(コード)
法学部・研究科	0025	0024
産業社会学部・社会学研究科	0038	0037
国際関係学部・研究科	0042	0041
文学部・研究科	0002	0001
先端総合学術研究科	0986	
経済学部・研究科	0031	0032
スポーツ健康科学部・研究科	0187	0186
食マネジメント学部・研究科	2109	2108
理工学部・研究科	0054	0053
情報理工学部・研究科	0732	0731
生命科学部・研究科	0139	0138
薬学部・研究科	0079	0078
経営学部・研究科	0034	0033
政策科学部・研究科	0029	0028
テクノロジー・マネジメント研究科	2160	
総合心理学部・人間科学研究科	0020	0019

採用後の申請者ご自身の受入部局名・コード	
部局正式名	受入部局コード
法学研究科	0024
社会学研究科	0037
国際関係研究科	0041
文学研究科	0001
先端総合学術研究科	0986
経済学研究科	0032
スポーツ健康科学研究科	0186
理工学研究科	0053
情報理工学研究科	0731
生命科学研究科	0138
薬学研究科	0078
経営学研究科	0033
政策科学研究科	0028
テクノロジー・マネジメント研究科	2160
人間科学研究科	0019
食マネジメント研究科	2108

[PD-RPD]

※所属機関は立命館大学(34315)

受入研究者の所属によって、受入部局が決定します。下記一覧を参照のうえ、部局コード・名称を選んでください。

採用後の受入研究者所属		
採用後の受入研究者所属	学部所属 部局(コード)	研究科所属 部局(コード)
法学部・研究科	0025	0024
産業社会学部・社会学研究科	0038	0037
国際関係学部・研究科	0042	0041
文学部・研究科	0002	0001
先端総合学術研究科	0986	
経済学部・研究科	0031	0032
スポーツ健康科学部・研究科(※)	0187	0186
食マネジメント学部・研究科(※)	2109	2108
理工学部・研究科	0054	0053
情報理工学部・研究科	0732	0731
生命科学部・研究科	0139	0138
薬学部・研究科	0079	0078
経営学部・研究科	0034	0033
政策科学部・研究科	0029	0028
テクノロジー・マネジメント研究科	2160	
総合心理学部・人間科学研究科	0020	0019

採用後の申請者ご自身の受入部局名・コード	
部局正式名	受入部局コード
衣笠総合研究機構	0934
衣笠総合研究機構	0934
衣笠総合研究機構	0934
衣笠総合研究機構	0934
衣笠総合研究機構	0934
BKC社系研究機構	0935
総合科学技術研究機構 または BKC社系研究機構	2155または0935
総合科学技術研究機構 または BKC社系研究機構	2155または0935
総合科学技術研究機構	2155
総合科学技術研究機構	2155
総合科学技術研究機構	2155
総合科学技術研究機構	2155
OIC総合研究機構	0936
OIC総合研究機構	0936
OIC総合研究機構	0936
OIC総合研究機構	0936
OIC総合研究機構	0936

(※)研究領域によって所属部局名が異なります。受入研究者と相談のうえ、いずれかをご記入ください。

「学振申請書作成講座」

日本学術振興会特別研究員 申請内容ファイル作成のポイント

総合心理学部 安田裕子

本日の流れ

1. はじめに 楽しみながら挑戦する—短期的展望・中長期的展望をもとう
 2. 評価者の立場から—研究の魅力をきちんと届けよう
 3. 申請内容ファイル作成の留意点—読み手を意識しよう
 4. 申請に向けて—このプロセスが力になります
-

1. はじめに 楽しみながら挑戦する—短期的展望・中長期的展望をもとう

☆ 研究を具体的に計画・構想する好機にしよう。

-自分自身への励み&present に

-研究費がついてくる

-研究を加速度的に進めることができる

個人研究・共同研究への動機づけ&価値づけ→国内外の学会等での発表機会の獲得→知見の深化・融合→豊かな仲間関係・ネットワーク形成→さらなる動機づけ・楽しさ・やりがい・幸福感 UP・・・

☆ キャリア展望をもとう（職歴になる→仕事として／生き方として）。

-どういう研究をしていきたいのか、研究者としてどうありたいのかを考える機会として

2. 評価者の立場から—研究の魅力をきちんと届けよう

☆ 変更点が 2 点あります。1 点目に、二段階の書面審査となります。2 点目に、研究者としての資質や将来性の評価により一層重点が置かれます。

※ただし、いずれも 2022 年度採用において先行実施されていたことです。

☆ 一段階目の書面審査では、申請書類に基づき、申請者の研究能力・将来性等について評価を行い、評点及び審査意見を付します。一段階目の書面審査結果を踏まえ、採用内定数の上位 80%～120%の申請者を「ボーダーゾーン」として、二段階目の書面審査対象とします。二段階目の書面審査では、一段階目の書面審査において他の審査員が

付した総合評価の評点及び審査意見も参考に、改めて同一の審査員による書面審査を行います。

- ✧ 「研究遂行能力の自己分析」欄では、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入します。
- ✧ 申請書の記載内容（研究計画、人権の保護及び法令等の遵守への対応、研究遂行能力の自己分析、目指す研究者像等、評価書）が総合的に判断され、申請者の研究能力や将来性などに着目して評価が行われます。
- ✧ ひとつの申請に対して 6 名が評価を行い、それらを総合して書面審査の結果が出されます。近接異分野を含む研究者が申請書を短期間に多く読みます。研究の意義やオリジナリティなどの魅力を、端的に、わかりやすく、具体的に、存分に、届けてください。
- ✧ 書面審査は、①審査項目ごとの評価、②総合評価、③審査意見、により構成されます。①審査項目ごとの評価は絶対評価、②総合評価は相対評価、となります。①審査項目ごとの評価をベースに、②総合評価がなされます。
- ✧ 一段階目の書面審査では、①「研究計画の着想及びオリジナリティ」、②「研究者としての資質」の 2 つの項目ごとに、絶対評価により 5 段階の評点（5：非常に優れている、4：優れている、3：良好である、2：普通である、1：見劣りする）を付します。その後、上記 2 項目の点数を踏まえて、総合的に研究者としての資質及び能力を判断した上で、書面審査セット内での相対評価により 5 段階の総合評価の評点を付します。二段階目の書面審査では、一段階目の書面審査において他の審査員が付した総合評価の評点及び審査意見を参考に、改めて 4 段階の評点（二段階目の審査の対象となった申請のうち、A：採用を強く推奨するもの、B：採用を推奨するもの、C：採用してもよいもの、D：A～Cに入らないもの）を付します。
- ✧ 総合評価は相対評価ですので、審査者は、担当する複数の審査書面を比較の観点をもって審査します。研究課題としての独創性や新規性をきちんと打ち出す、不明瞭な点を残さないことが重要です。
- ✧ 研究計画が不明瞭になりがちです。地に足がついた実現可能な研究計画を立てることが重要です。研究の停滞・うまくいかない場合の代替措置、予想しにくいことも含め

た問題の解決策も可能な限り盛り込んで、具体的に記述します。

- ✧ 「人権の保護及び法令等の遵守への対応」に関し、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置が講じられているかの確認がなされます。該当しない場合には、その旨記入します。
- ✧ 研究の実行・実現可能性（具体性・安全性・確実性）、探究したいことのおもしろさや新しさ・オリジナリティの増分、研究への熱意、未来に拓かれうる研究や研究者としての展望・可能性を、書面で明確に表現して審査者に届けてください。

**この研究課題をぜひやってほしい！この若手研究者にぜひがんばってほしい！
と思わせてください。**

3. 申請内容ファイル作成の留意点—読み手を意識しよう

- ✧ 審査者にいかにわかってもらえるか、ということに意識的になりましょう。
- ✧ 記載すべき項目の冒頭に記されている指示文に忠実に、論を展開していきましょう（指示文はガイドでありヒントである）。
- ✧ 段落構成と意味のまとまりを意識して構造化し、適宜、見出しをつけて表現しましょう。
- ✧ 図表を効果的に用いましょう。
- ✧ 字体によるメリハリ、太字やアンダーラインなどを活用し、大事な部分を強調しましょう。ただし、飾りが多いとわかりにくくなりますので注意してください。
- ✧ 指示文に応えられているかを、他者の目を通しつつ、繰り返し確認しましょう。

2.【研究計画】※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、本項目は1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

(1) 研究の位置づけ

特別研究員として取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

(2) 研究目的・内容等

- ① 特別研究員として取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。
- ③ 研究の特色・独創的な点(先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)にも触れて記入してください。
- ④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。(DC)／共同研究の場合には、申請者が担当する部分を明らかにしてください。(PD)
- ⑤ 研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関(外国の研究機関等を含む)において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

(3) 受入研究室の選定理由※各事項の字数制限はありませんが、全体で1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。(PD)

採用後の受入研究室を選定した理由について、次の項目を含めて記入してください。

- ① 受入研究室を知ることとなったきっかけ、及び、採用後の研究実施についての打合せ状況
- ② 申請の研究課題を遂行するうえで、当該受入研究室で研究することのメリット、新たな発展・展開
- ※ 個人的に行う研究で、指導的研究者を中心とするグループが想定されない分野では、「研究室」を「研究者」と読み替えて記入してください。

3. 人権の保護及び法令等の遵守への対応 ※本項目は1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

本欄には、「2. 研究計画」を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等(国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む)に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記入してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、行動調査(個人履歴・映像を含む)、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続の状況も具体的に記入してください。なお、該当しない場合には、その旨記入してください。

4.【研究遂行力の自己分析】※各事項の字数制限はありませんが、全体で2頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。

- ・下記(1)及び(2)の記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。
- また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。
- なお、研究中断のために生じた研究への影響について、特筆すべき点がある場合には記入してください。

(1) 研究に関する自身の強み

- ・記述の根拠となるこれまでの研究活動の成果物(論文等)も適宜示しながら強みを記入してください。
- 成果物(論文等)を記入する場合は、それらを同定するに十分な情報を記入してください。
- (例) 学術論文(査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。)
- 著者、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁-最終頁、発行年を記載してください。
- (例) 研究発表(口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。)
- 著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。(発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。)

(2) 今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素

5.【目指す研究者像等】※各事項の字数制限はありませんが、全体で1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

日本学術振興会特別研究員制度は、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的としています。この目的に鑑み、(1)「目指す研究者像」、(2)「目指す研究者像に向けて特別研究員の採用期間中に行う研究活動の位置づけ」を記入してください。

（例 1）文章による構造化の一例―階層構造を明らかにする

【研究の位置づけ】

これまでに得られた研究結果として、次のことが挙げられる^{業績 2) 4) 7) 12) 13) 15) 32)}。

1. 経験と選択経路の可視化、ならびに心理社会的支援の提示：

(1) 不妊夫婦の子どもをもつ選択経路を、不妊治療と養子縁組という社会システムへの関わり方から捉え、治療をする選択・・・指摘した。

(2) 生涯発達の観点から、不妊当事者への実践的な心理社会的支援を検討した。

① ＜不妊治療を始める段階での支援＞情報提供と心理教育による選択支援：・・・重要である。

②

③

2.

- ☆ 当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯を明らかにしつつ、自分自身の研究成果を位置づける。
- ☆ 必要に応じて見出しを付ける。見出しは、「体言止め」（名詞で終わらせる表現技法）を用いるなどにより、メリハリをつけるなど工夫して整えつつ、要点を明確に打ち出す（例 2 へ）。

（例 2）文章による構造化の一例―見出しを用いて端的に示す

【研究の位置づけ】

・・・・・・次の 4 つの理論的成果が産出された。

1. 分岐点での変容を捉える視点：

2. 不定（uncertainty）を捉える視点：

3. ナラティブ・プラクティス／臨床的支援との接合：

4. 多声的な自己と場の変容：

【研究内容】

上記を踏まえ、次の 3 つを導入し、・・・を推し進める。

1. （形態）維持という視点（上記 1 2 より）：

2. 関係性・集団というシステムの単位（上記 4 より）：

3. キャリア教育・支援への適用と実践現場への還元（上記 3 より）：

（注意点）・強調しすぎ？ 何が重要かわからなくなるように印刷し、見え方を要確認

- ☆ 特別研究員として取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について、どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入する。
- ☆ 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのかを明確に。

（工夫）・これまでの到達点とこれまでの研究内容の具体的な明示
・対応関係を明確にしたうえで
・の論展開

（例 3）文章による構造化の一例—立体的に記述する

【研究目的】

時間とともにある当事者性に留意して、1. 援助者へのインタビューから、精子・卵子・胚の提供による非配偶者間の不妊治療における心理社会的支援を、2. 心理臨床的フィールド実践により、生殖補助医療と周産期医療と心理臨床の接合可能性を検討し、生殖補助医療の進歩を踏まえた支援について考察する。また、3. 援助者の関わりを、当事者の生殖と家族形成にまつわるライフの分岐点として想定し、分岐点における援助者介入理論としての、臨床に役立つ TEM の理論的・方法論的精緻化を進める。

【研究方法】

1. 【**実践的検討**】援助者へのインタビュー調査から：養子縁組の活動に従事している援助者、ならびに卵子の提供による不妊治療に従事している援助者を対象に、関わる複数の当事者にいかなる配慮をもって援助を行っているのかについて、インタビュー調査を行う。
2. 【**臨床的検討**】心理臨床的フィールド実践を介して：治療で受胎した場合、その後は不妊治療専門施設から産科に転院することが多い。一方で、たとえ治療で子どもをもったとしても、不妊に伴う苦しさの経験を乗り越えることと子どもができた経験とは異なり、不妊である身体も傷ついた心も変わらない場合がある（松島, 2003）ことを踏まえれば、受胎した後を含めて支援の環境を設定する必要性が認識される。産前産後のうつと不妊経験との直接的な関係への言及は申請者の専門性を越えるが、そもそも生殖は女性のメンタルヘルスにおけるハイリスク期である。不妊の問題特性を受胎したか否かという論点に収斂させることのない視点をもって、受胎した後の心理臨床的支援の環境を整備することが、妊娠・出産や養育に直接関わる女性とその子どもの、その後を含めたライフの質を考えるうえで重要である。
3. 【**理論的・方法論的検討**】協働的な学びを通じて：分岐点は、複数の当事者のライフの交差点であり、不定な状況でありつつも変容可能性に開かれている。分岐点を基軸にした各当事者の歩みの来し方と行く末を時間経過に沿って捉えてこそそこでの適切な介入の検討が可能となる。共同研究を含めて進める。

＜意味のまとまりとして積み上げ、構造化する＞

- ✧ ひとつの文章で何を言わんとしているのかを確認する。
-主語-述語の関係は適切か。
-一文が長すぎないか。
- ✧ 各段落、各節で何を言わんとしているのかを確認する。
- ✧ 接続詞を効果的に用いる。
- ✧ 複数の研究目的について、研究方法との対応関係を整理する。
必要に応じて階層構造を整える（例 1）。
- ✧ 専門用語は、当該分野で通常使用の用語でも簡潔に説明する。

＜体裁を整える＞

- ✧ 様式の変更・追加は不可である。紙幅の制約をいかに。
- ✧ 誤字脱字は 100%なくす。語句や記号（「、」「、」）の統一性を確認する。
- ✧ プリントアウトして見え方を確認する（画面と紙面では見え方が違う）。

（例4）表による構造化の一例—具体的に研究計画を見せる

表 研究計画

		インタビュー調査の対象	
		福祉・心理側からのアプローチ	司法側からのアプローチ
		NPO 法人等民間支援団体	左記の連携先関連諸機関
		弁護士（各年度2名程度）	
○ 年度	4-6月	【4月】インタビュー調査準備 【5-6月】調査3件実施 データ整理・分析	【4月】インタビュー調査準備 【6月】調査1件実施 データ整理・分析
	7-9月	【7-9月】調査4件実施 データ整理・分析	【8月】調査1件実施 データ整理・分析
	10-12月	【10-11月】学会発表	【10-11月】学会発表
	1-3月	【2月末】データとりまとめ 【3月】次年度に実施する インタビュー調査準備	【2月末】データとりまとめ 【3月】次年度に実施する インタビュー調査準備
○ + 1 年度	4-6月	【4-6月】調査3件実施 データ整理・分析	【4-6月】調査2件実施 データ整理・分析
	7-9月	【7-9月】調査4件実施 データ整理・分析	【7-9月】データとりまとめ
	10-12月	【10-11月】データとりまとめ、学会発表、シンポジウム開催準備 【12月】福祉・心理と司法をむすぶシンポジウムの開催	
	1-3月	【3月上旬】報告書の作成完了ならびに配布	

☆ 誰（何）を対象に何をするかを、タイムスケジュールとともに記述し、具体性・実行可能性を示す。

（例5）図による構造化の一例—当該研究内容の全体像に本研究課題を位置づけて見せる

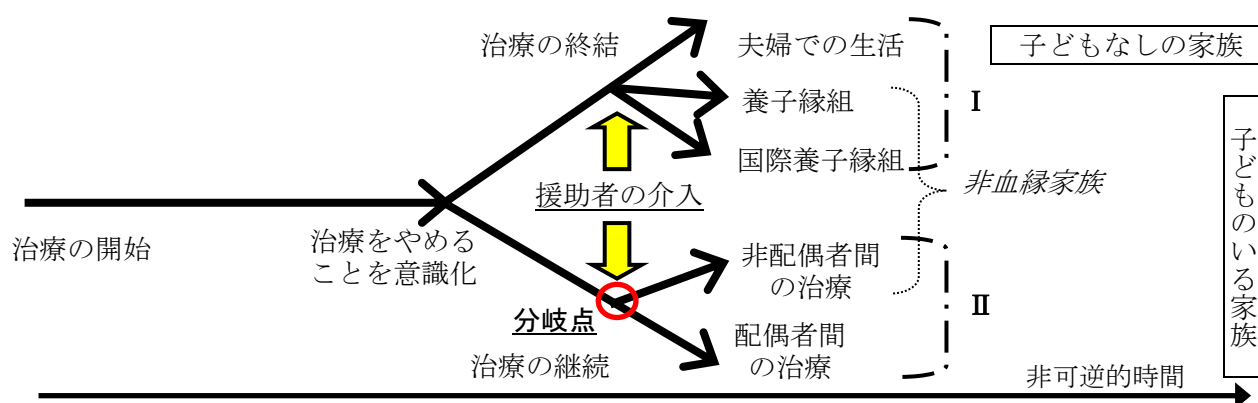


図 不妊夫婦の家族を築く選択経路

☆ 研究課題を図に位置づけて理解を促す。図を端的に言葉で説明することあわせて。
☆ 要点を図できちんと伝えることができているかを確認する。

（例 6）「人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄の一例—研究前・中・後を意識して

・・・最初の段階で、所属の倫理委員会に本研究ならびに本調査に関する申請を行い、調査内容については倫理委員会の審査を通過するまで精査する。そして調査時には、研究協力者に説明を入念に行い、同意ならびにその利用に関する事前承諾を書面で得る。また、調査で得られた具体的な事例の報告や執筆に際しては、個別対応による確認の後、改めて承諾書を作成し書面での了解を得る。調査時と報告・執筆時にはタイムラグが生じるため、必要に応じてその旨を明示し、時間経過を含みこんだ当事者性への十全な配慮を欠かさない。なお、インタビューの音声データ及び音声データを文字に起こした紙媒体は、鍵のかかる備品庫等で厳重に保管する。研究期間中は終始、個人が特定されないための情報管理に留意し、執筆に際しては、成果の産出に必要な否かを常に精査しながら、不要な個人データをむやみに公開しない、記述する場合は対象者の特定を避けるべくデータに一部改変を加える等の対応を徹底する。

また、研究会での報告者に対し、回収が必要な臨床事例等の記載がある配布資料については、ナニバリング管理する等により、研究会終了後の回収ならびにその確認を、確実に行う。・・・云々

- ◇ 研究内容の説明、自由意思による参加、利益相反、精神的苦痛の発生の有無と対応、個人情報保護、データ保管の方法や場所・破棄の時期、成果の公開・・・
- ◇ （参考）立命館大学 研究倫理 <http://www.ritsumei.ac.jp/research/approach/ethics/>
チェックシートや申請書から、研究倫理の要点をとらえることができる。

（例 7）「研究遂行能力の自己分析」欄の一例

（1）研究に関する自身の強み

学融合的協働により研究を推進する実行力と持続力：ライフとキャリアをとらえる TEA の展開—編著書〇冊の刊行、協働的な研究活動推進基盤の確立と成熟／・・・安田は生涯発達心理学と臨床心理学を専門とする。ナラティブ・アプローチによりとらえた当事者経験を質的に分析し、援助に接続させる志向性のもと研究を蓄積してきた。TEM の手法を初めて論文執筆に用い¹、不妊に悩んだ女性の人生（ライフ）の物語と選択経路に関する知見を、生涯発達の視点を組み入れ産出した^{2,3}。そして、〇〇とともに、TEM を開発・・・する過程で、その特徴や意義を TEM 三部作と銘打つ著書にまとめ^{4,5,6}、・・・TEM/TEA 研究会を開催し、また講習会などの依頼を受け、TEA の研究への適用可能性について検討を重ねてきた。学会では、シンポジウムなどによる発表・・・、チュートリアル形式で教育講座・・・、協働的な学びの機会を多数提供してきた^{9,10}。・・・研究のみならず実践に活用する可能性を掘り起こし・・・

〔これまでの研究活動の成果物〕

1. 安田裕子、不妊という経験を通じた自己の問い直し過程—治療では子どもが授からなかった当事者の選択岐路から、質的心理学研究、4、201-226、2005 年

- ◇ 研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入する。観点を項目立てするなど、適宜工夫する。
- ◇ これまで携わった研究活動などにおける経験を踏まえ、記述の根拠となるこれまでの研究活動の成果物（論文などについて、当該文献などを同定するうえで十分な情報）も適宜示しながら、具体的に明記する。
※例示は、「強み（体言止め＋ゴシック体）：研究上の達成・成果（体言止め＋明朝体）／説明（文章＋明朝体＋引用）」を組み合わせる工夫により記述。
- ◇ 強みと弱みは裏腹である。強みとして遠慮せずに明記する。

（例 8）「目指す研究者像等」欄の一例

（1）目指す研究者像

〇〇は、向き合うべき課題に対して持続的に丁寧かつ果敢に取り組む、実直で気鋭な姿勢と実行力をもつ研究者である。それは次のことにも表れていよう。（例示）

こうした申請者の強みは、□□（学問領域、専門性など）に関する研究者として成長していくうえで必要と考えられる・・・を培う基盤となるものであり、こういった強みと今後培うべき・・・の資質を総合して、☆☆という特長ある研究者を目指すものである。すなわち、1)・・・、2)・・・、3)・・・といったことを目標とする申請者〇〇の将来性には、□□の研究者としておおいに期待がもたれる。

※ 1) 2) 3) は多面的に記述する（たとえば、教育、学会、社会活動、など）。

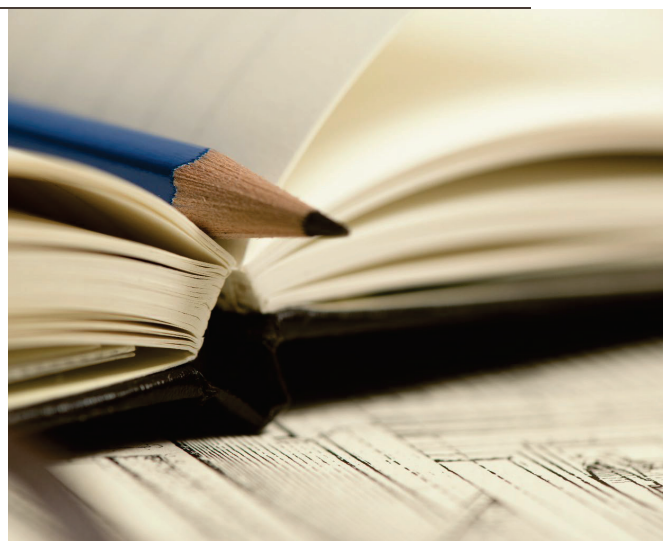
- ◇ 我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資するという目的に鑑み、（1）「目指す研究者像」、（2）「目指す研究者像に向けて特別研究員の採用期間中に行う研究活動の位置づけ」を記述する。
- ◇ （1）「目指す研究者像」は、言葉が上滑りしないように、「研究遂行能力の自己分析」欄に記載した内容、すなわち、研究に関する自身の強み（現在）を表現をかえて端的に明示しつつ、今後研究者として更なる発展のために必要と考えている育てるべき力量（未来）を重ねて述べる。
- ◇ （2）「目指す研究者像に向けて特別研究員の採用期間中に行う研究活動の位置づけ」に関しては、（1）と本申請書の研究計画を関連づけるかたちで記述することにより、研究課題として記載した内容の説得力を高めることができる。

4. 申請に向けて—このプロセスが力になります

- ◇ 時間とエネルギーをしっかりと注いで、粘り強く書きかえを重ねましょう。
- ◇ 研究課題と研究者としての自分自身の魅力と可能性を、読み手にわかりやすく届けることができているかを、十分に確認しましょう。
- ◇ 仲間と励まし合って、また期日を決めて相互に確認し合って、進めていきましょう。他者の目を通すピアレビューの機会をつくりましょう。
- ◇ このプロセスは、これまで行ってきた研究の要点を整理し、これから行う研究の構想を明確にする機会となり、今後の研究やキャリアをかたちづくる重要なステップになります。また、論理的に考える力、文章構成力などを育てることにもつながります。
- ◇ これまで大切に取り組んできた蓄積を信じて、短・中長期的未来を思い描き、楽しみながら、進めていきましょう。

日本学術振興会特別研究員 申請・書き方ガイダンス 体験談

文学研究科 博士後期課程1回生
戸塚 史織



自己紹介

- 申請資格：DC1
- 書面合議審査区分：人文学
- 書面審査区分：文学、言語学およびその関連分野
- 小区分名：日本文学関連
- 専門分野：日本演劇文化史
- 研究課題名：天明歌舞伎と勝川派の役者絵



申請までの流れ

- 4月上旬
ガイダンス出席
- ～4月末
資料収集・分析 …★
- 5月上旬～10日頃
申請書作成・初稿完成
- ～5月末
修正の繰り返し …★
- 5月31日
提出



2022/04/04

学振申請・書き方ガイダンス体験談 戸塚史織

3

資料収集と分析

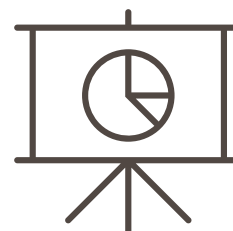
■ 資料収集

- ① 学振が公表している資料
(募集要領や作成要領など)
- ② 学振について教えてくれているもの
(TwitterやYouTubeなど)
- ③ 先輩方の作成した申請書
(同分野は勿論、分野が違ってOK)
- ④ 先行研究・審査区分の王道先行研究



■ 分析

1. 読む人の分析
2. 申請書の分析
3. 研究の分析



2022/04/04

学振申請・書き方ガイダンス体験談 戸塚史織

4

分析 | 1. 読む人の分析

使用資料 : ① ②

- 読む人 = **審査員**
- **超多忙な専門委員の先生方が1ヶ月程度の期間に数十件の申請書**を読んで審査する
- 書面審査セットのグループ毎に審査されるが、複数分野をまたぐグループが殆どのため、**専門が完全に一致しているわけではない審査員が含まれる**
- 審査員は**定められた審査項目** (①「研究計画の着想及びオリジナリティ」、②「研究者としての資質」) に**基づいて採点 (絶対評価)**し、審査項目の点数を踏まえ、**総合評価の点数を付ける (相対評価)**

このような審査員にとって

審査しやすい

- ・ 読む気になる
- ・ 読みやすく、採点しやすい

申請書であり、かつ

「この申請者は優れている」と感じさせる

- ・ 審査項目に沿った内容が明確に記載されており高得点を付けやすい

申請書であることが望ましい



2022/04/04

学振申請・書き方ガイダンス体験談 戸塚史織

5

分析 | 2. 申請書の分析

使用資料 : ① ② ③

- 申請書の構成(項目・指示文・様式など)
- 過去の様式から大幅改変が行われた箇所

2. 研究計画

- (1)研究の位置づけ 1P
- (2)研究目的・内容等 2P

3. 人権保護・法令等の遵守対応 1P

4. 研究遂行力の自己分析 2P

- (1)研究に関する自身の強み
- (2)今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素

5. 目指す研究者像等 1P

- (1)目指す研究者像
- (2)目指す研究者像に向けて採用期間中に行う研究活動の位置付

■ 枠線などが消去→紙面の自由度<高>

= デザインに気を遣うだけで大きな差別化

【読む気になる】

■ 申請書の項目がそのまま採点項目

= 項目毎の指示文に忠実に記入

- ・ 2. 研究計画→①「研究計画の着想及びオリジナリティ」評価
- ・ 4. 遂行力・5. 研究者像→②「研究者としての資質」評価

【読みやすく採点しやすい】

■ ポイントをおさえ明確かつ一貫性をもって説明

- ・ 単なる研究業績欄が消える
→業績の単なる有無より、業績を説明できるかがポイントに
- ・ 各項目の関係性を把握して記入
4(1)〈今まで〉→4(2)〈今の不足〉→5(2)〈採用中の成長〉
→5(1)〈将来〉

【高得点をつけやすい】

2022/04/04

学振申請・書き方ガイダンス体験談 戸塚史織

6

分析 | 3. 研究の分析

使用資料：③ ④

■自分の研究の分析

- 先行研究の見直し
- それを踏まえた自身の研究の分析
→ やりたい研究内容、
なぜその研究をやりたい？やるべき？
- 申請書に関係しそうな内容中心に書き出し
自身の研究・考えを具体化・明確化
→ とにかく書きなぐる、マインドマップを作る、
研究概要スライドを作ってみる etc

■審査区分の王道先行研究分析

- 王道的な研究手法と研究史を確認し、
その文脈にのるように自分の研究を説明する

■ここまでの分析成果に則って、
研究内容を申請書項目に
当てはめていく

■使えそうな言い回しも一緒にメモ

- 先輩の申請書から、先行研究でよく使わ
れているキーワードや言い回し など

➡ これを下書きに申請書を作成



2022/04/04

学振申請・書き方ガイダンス体験談 戸塚史織

7

修正の繰り返し

■5月10日頃初稿完成、5月末提出までに 7稿まで書き直し

- ・ 指導教員や周囲の人にアドバイスを
貰いつつ、練り上げていく

■声に出して読み上げる

- ・ すらすら読めない＝伝わりにくい
- ・ 誤字脱字など読みを妨げるノイズを
極力減らす

■デザインの調整に力を入れる

- ・ 行間やフォント、マーカー、強弱など、
少し変えるだけで印象は大きく変わる
- ・ 審査員に読んでもらえてこそその申請書



2022/04/04

学振申請・書き方ガイダンス体験談 戸塚史織

8

おわりに

■周囲の環境

- 協力してくれる周囲の先生、先輩方
- 同じく学振に申請する同期の存在

➡大学院課の蓄積など、環境を目一杯活用

■運

- 審査員の専門との合致、好み等自分ではどうしようもない部分も…

➡少しでも審査員とのマッチング率を上げる努力

■自分の研究っておもしろい！の気持ち

■未来の後輩の「学振ってどう書いたら良いですか？」の質問に答えられるように申請書を作成

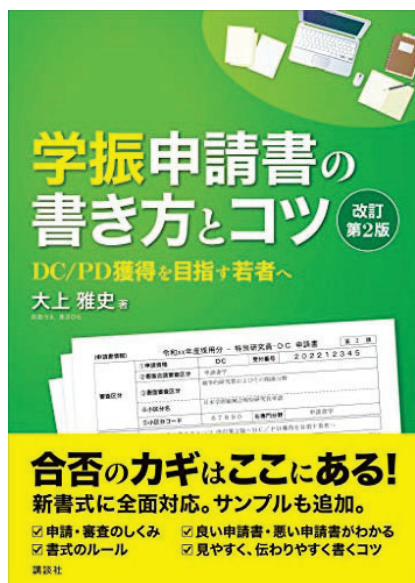


2022/04/04

学振申請・書き方ガイドス体験談 戸塚史織

9

おまけ | 参考になった文献



大上雅史『学振申請書の書き方とコツ 改訂第2版 DC/PD獲得を目指す若者へ』（講談社、2021）

- 教科書としてもっておくと良い一冊。基本的なことがしっかり書いてあるのでありがたい。
- 実際の申請書事例が載っていて参考になる。
- 著者の方の学振申請書についてのスライドもWEB上にアップされている。

2022/04/04

学振申請・書き方ガイドス体験談 戸塚史織

10

おまけ | 参考になった文献

伝わるデザインの基本 よい資料を作るためのレイアウトのルール



高橋佑磨、片山なつ『伝わるデザインの基本 よい資料を作るためのレイアウトのルール』 (技術評論社、2014)

- 審査員が「読む気になる」ような申請書の、見た目づくりのために参考になる一冊。
- [公式サイト](#)に載っている簡単なまとめを見ておくだけでもかなり参考になる◎

申請書作成を振り返って

人間科学研究科 博士課程後期課程I回生
臼井健太郎

目次

- 自己紹介
- 申請書作成を振り返って
 - わかりやすさを意識する①：専門家以外でもわかる
 - わかりやすさを意識する②：ぱっと見てわかる
 - コツコツと計画的に進める
- 最後に

自己紹介

- 名前 : 臼井健太郎
- 研究科 : 人間科学研究科博士課程後期課程I回生
- 研究テーマ : 錯視、傾き知覚
- 研究領域 : 知覚心理学、実験心理学
- 研究課題名 : 仮想線の傾き知覚における垂直・水平バイアス
- 書面合議審査区分 : 社会科学
- 書面審査区分 : 心理学およびその周辺分野
- 小区分名 : 実験心理学関連

申請書作成を振り返って

- 良かった（と思われる）点
様々な分野の先生、先輩に見てもらった。
わかりやすさ、みやすさにこだわった。
- 反省点
一通り書き終わるまでが遅かった。
先生に添削のお願いをするのが遅かった。

わかりやすさを意識する①: 専門家以外でもわかる

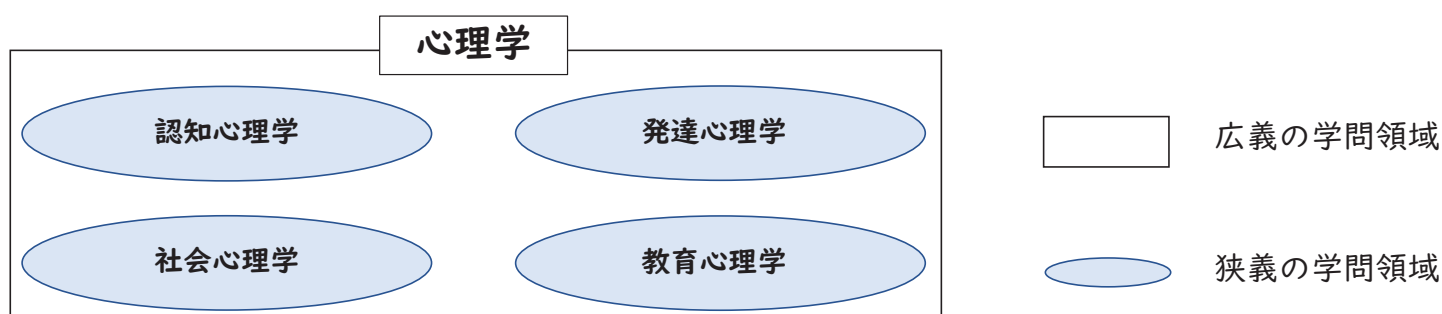
- ・ 審査は、小区分単位ではなく、書面審査区分単位で行われる。

- ・ 申請書は、自分の研究分野以外の審査員も読む。

研究室や所属学会で当たり前に使っている用語を、審査員も知っているとは限らない。

どんなに革新的な研究計画でも、審査員が理解できないと良い評価は得られない。

わかりやすさを意識する①: 専門家以外でもわかる



広義の概論書（例：心理学）にも記載がある用語
そのまま使う。説明に字数を割かない。

狭義の概論書（例：認知心理学）にのみ記載がある用語
平易な言葉や図を用いて説明を加える。言い換えも検討する。

わかりやすさを意識する①: 専門家以外でもわかる

- 申請書を添削してもらうときは、様々な分野の人をお願いします。

専門家にも、専門家以外にもわかりやすい、面白いと思ってもらえる申請書を目指す。

- **研究テーマや研究手法が同じ人（小区分に対応）**

研究室の先生、先輩、所属学会が同じ研究者など

- **研究テーマや研究手法が異なる人（書面審査区分に対応）**

同じ研究科の先生、同級生など

わかりやすさを意識する②: ぱっと見でわかる

- **審査者は大量の申請書に目を通す。**

審査者に読みやすそう、読んでもいいかなと思ってもらう。

- 流し読みでもなんとなく内容が伝わる申請書を目指す。

じっくり読みたい、と気を引けるとなお良い。

わかりやすさを意識する②:ぱっと見でわかる

- 図を効果的に使う。

- 研究の根幹の内容に関する図

- 専門的な内容を説明する図

- 使える文字数の増加にも減少にもつながる。よく考えて作図する。

- 視認性の高い図を目指す。

- 紙に印刷したり、多少縮小したりしても、意図した見え方をするのか。

- 図中の文字やグラフの目盛は小さすぎないか。

わかりやすさを意識する②:ぱっと見でわかる

- 文字表現を使いこなす。

- 視認性の高いフォント

- 太字

- 下線

- 網掛け

- 見出し、研究の特徴や魅力を象徴する文章、最重要単語、など意図毎に使い分ける。同じ意図の内容は同じ文字表現に統一する。

- 選りすぐりの数カ所を目立たせる。

- 強調箇所が多すぎると何が重要なかわからず、意味が無い。

コツコツと計画的に進める

- **毎日なにかしら書く。**

1文でもいいから何か書き足す。

- **書けるところから書く。**

最初から最後まで順番通りに書くことにこだわらない。

過去の発表資料や研究ノートから使えるような内容を流用してみる。

- **申請スケジュールを把握して余裕のある計画をたてる。**

申請書作成は思い通りに進まない。

最後に

- 申請書作成中、自分の研究に自信が持てなくなっても、

ひとまず書ききる。ひとまず提出する。

- 申請書は、これまでの研究、これからの研究構想、自身の研究者像を整理する絶好の機会。

- 大上雅史先生の本（講談社、電子書籍あり）は参考になりました。

学振申請書の書き方とコツ 改訂第2版 DC/PD獲得を目指す若者へ

日本学術振興会特別研究員 申請・書き方ガイドンス

食マネジメント研究科 分子栄養学研究室
博士課程後期課程2回生
森 理紗子

本日も話の内容

- ・自己紹介
- ・学振申請書準備のスケジュール、取り組み
- ・申請書を作成する上でのポイント
- ・おすすめの参考書
- ・学振申請書への向き合い方

自己紹介

- 申請資格：DC2
- 書面合議審査区分：医歯薬学
- 書面審査区分：社会医学、看護学、スポーツ科学、体育、健康科学およびその関連分野
- 小区分名：栄養学および健康科学関連
- 専門分野：分子栄養学
- 研究課題名：骨格筋機能と全身性カルシウム代謝との相互作用メカニズムの解明

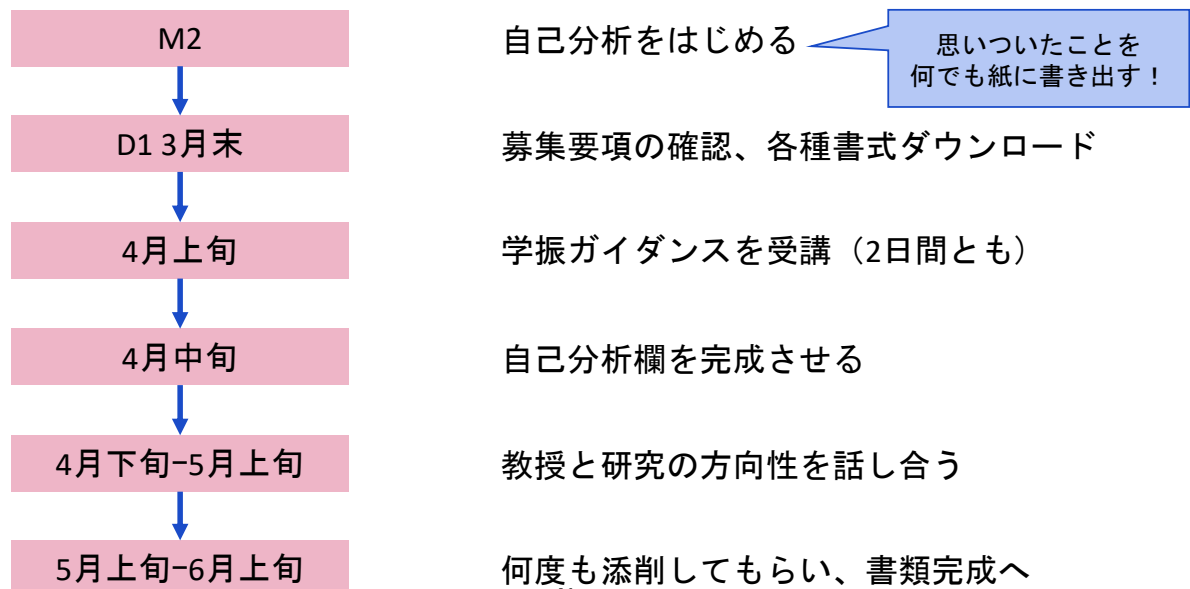
学振申請書準備のスケジュール、取り組み

まず最初にやるべきこと

- ・スケジュールの確認
教授にもスケジュールや締め切りを共有すること！
評価書の作成依頼もできるだけ早めに行いましょう。

評価書に
書いてほしい内容を
まとめておくと◎

申請書類提出までの大まかなスケジュール(私の場合)



申請書を作成する上でのポイント

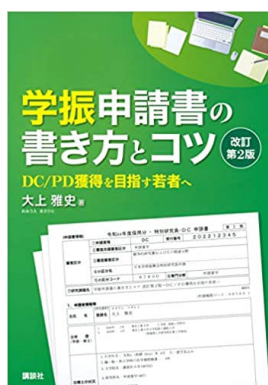
- ・ 研究目的から研究計画までの内容に一貫性があること
審査員の先生方は数十人分の申請書類を審査されます。
少しでも引っかかる部分があると、評価が下がる原因になります。
- ・ 図表のレイアウトにもこだわる
白黒で印刷したときに見やすい色遣いを心掛ける。
配置や図自体のバランスも手を抜かない。
- ・ ぎりぎりまで誤字・脱字がないか確認する
学内締め切り後も数日程度は修正が可能
(私は学内締め切り後に誤字を発見し、差し戻しをお願いしました。)
- ・ 何度も声に出して読む
読みやすい文章か、助詞や接続詞が適切かを丁寧に確認する。

煮詰まってきたら、適度に身体を動かしながら確認を行うと、ミスに気づきやすくなることがあります！



参考にした文献

- ・ 大上 雅史, 学振申請書の書き方とコツ 改訂第2版
DC/PDを獲得を目指す若者へ, 講談社 (2021).



<特に参考になった点>

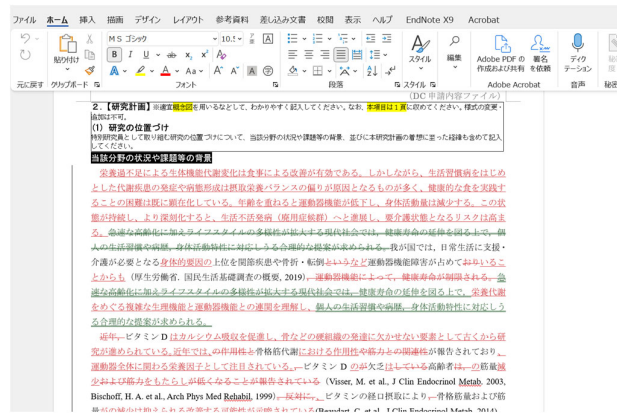
- ・ 申請の全体像を確認できる
書類の準備からスケジュール管理、
具体的な手続きの内容まで
- ・ 申請書作成のポイントが
項目ごとにまとめられている
- ・ 採用後にやるべきこともわかる

まだ手元がないという方は
購入されることをおすすめします！

- ・ ネットで検索すると、大上先生のガイダンス用スライドや、実際に採用された方が申請書類の書き方をまとめた記事なども出てきます。

最後に

私の初稿は真っ赤になって返ってきました…



締め切りの直前まで教授にみてもらい、推敲を重ねました。
申請書類を仕上げるまでに、かなりの時間と労力がかかります。
できるだけ早くから準備をはじめましょう！

大変なことも多いですが、自身の博士論文研究の方向性を整理したり、
研究に関連する知識を増やしたりできるので、
必ず今後の活動に活かせると思います。頑張ってください！